

『甲佐のチーム』が始動

「選手たちには、まず社会人として自立し、仕事と野球どちらも精一杯やり遂げるよう伝えていきます。地域の皆さんに応援されるような選手に成長して欲しいですね」と話すのは、社会人野球チーム



大福ロジスティクス Daifuku Logistics

〔甲佐町白旗〕

大福ロジスティクス/社会人野球チーム。大福物流(白旗)の硬式野球部として今年1月に日本野球連盟(JABA)加入。18~22歳の若い選手らが社員寮(西寒野地内)で生活しながら全国大会を目指す。

「大福ロジスティクス」で監督を務める藤本浩二さん(写真最後列左)。
同チームは、本町白旗に本社を置く大福物流の硬式野球部として、今年4月に活動をスタート。本年度入社の高卒

13人を中心とする平均年齢約20歳の若い選手ら22人が、町内で寮生活をしながら仕事と野球の両立に励んでいる。
家庭の事情などで高校卒業後に就職を選択する球児たちに、野球を続けられる環境を提供したいという思いから設立された同チームだが、若い力が社員として入ること職場の雰囲気も明るくなったという。

新型コロナウイルス感染症の影響で活動当初は練習場の確保もままならなかったと話す藤本さんは「若い選手ばかりなので寮監を務める加藤真名不コーチとともに、選手と対話する時間が取れたのは良かったと思います。選手らも地域の方から応援の言葉をいただくこともあり、励みになったようです」と振り返る。
一日6時間、倉庫作業などの業務を終えた後、町外のグラウンドに移動して練習に汗を流す日々を送る選手たちは、先日の都市対抗野球1次予選で初の公式戦に臨み、敗者復活戦から公式戦初勝利を挙げた。代表決定戦で善戦するも一歩及ばず敗退となったが、「初勝利は若いチームにとつて大きい」と藤本さん。
「選手は皆、熊本をはじめとする九州出身者。今冬には室内練習場も完成予定で、全国大会出場を目指してさらに励みたい。今後は野球教室などを通して、地域に元気を与えられたら」と若い選手らと共に『甲佐のチーム』の更なる成長を誓う。

広報 こうさ

2020年(令和2年)9月号
通巻614号